

# 「教材・支援機器活用実践事例」

## 【ビジョントレーニングを用いた集中力を高める指導】

	教科名等	自立活動
授業について	単元・題材名	「目のべんきょう／見るべんきょう」
	授業における教師のねらい	○ 指導では、集中して取り組んでほしいという思いで、2つから3つの内容をモジュール化して進めるようにしている。その1つ目として多く活用しているのが、ビジョントレーニングからヒントを得た内容を使っている。視覚機能の向上を促すビジョントレーニングをベースにして、自分なりに使いやすく作り直して活用している。 本来の目的である、目のトレーニングだけでなく、集中力を高めたり、授業の導入部分で使ってスムーズに次の活動につなげたりと、児童の実態にあった様々な使い方ができる。
	授業における子どもの目標	○ 集中力を高める。 ○ 指示を良く聞いて活動する。 ○ 苦手な発音練習をする。(個に応じて、文字の配置等の工夫)
子どもについて	学級・学校・学年	○ 通級指導教室 小学校 通級指導教室
	対象の障がい	○ ADHDの傾向がある児童。構音障がいのある児童(使い方は工夫次第)
	授業形態	○ 個別学習、グループ学習、集団など、様々な形態でできる。
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	○ 落ちついて取り組めない、長い時間の集中は難しい。指示が入りにくい児童。→集中力を養い、意欲を高める、切り替えができる。 ○ 上手く板書を写せない等書字に困難がある児童。(追従性眼球運動) →視覚機能の発達を促す。 ○ 構音障がいのある児童→その児童の実態に合った構音練習。

### 【教材・支援機器活用】 使用した支援機器・教材の名称、活用のねらい

名称	<input type="checkbox"/> 数字探し レベル1(1~10)レベル2(1~20)	<input type="checkbox"/> 文字探し(五十音順、縦、横、指定) <input type="checkbox"/> 構音練習
使い方と活用のねらい	※短時間で集中力アップさせ、切り替えが上手にできるようにするために使用する。 ○ 1から10までの数字を順に眼や指で追う。 ○ できるだけ速く見つけることを意識させるため、タイマーで時間を測る。 ○ 眼だけ動かして探す、指で指すと同時に数字を読み上げさせる。 ○ 教師や友だちと競争、前回のタイムと比べると、児童の実態に応じて使い方は様々。	※集中力をアップさせたり、指示をしっかりと聞く力をつけるために使用する。 ○ 眼だけで五十音順に追う。指で指しながら言う。縦や横に順に言う。サイコロを使って色や数字から指定し探させる。 ※発音練習として活用。 ○ 練習させたい言葉を組み込んだものを個に応じて作成する。楽しみながら練習できる。
教材の写真		
子どもの変容や評価	○ 取り組むことが明確なので、かなり集中して取り組み、競争意識を持たせながら使うと、更にやる気がアップする様子が見られた。 ○ 眼だけで数字や文字を追わせる、指で順に指しながら声も出して言う。利き手と反対の手を使って指させるなど、児童の実態に応じて進め方を工夫し、指導することができる。 ○ 準備が簡単で、発展しながら進められる。ベースとなるものを作っておけば、数字や文字の並び方を変えて、違うバージョンをすぐに作成することができる。 ○ 頭だけで考えるのが難しい児童には書き込ませながら、集中力の向上をねらうことができた。	